

令和4年度 3学期学校評価(職員)

評価[とてもよい4 よい3 もう少し2 改善を要す1] 3.3以上 2.7以下
 80%以上 60%以上80% 30%以上60%未満 30%未満

		評価項目	1学期	2学期	3学期
I 信頼される開かれた学校教育の推進	学校教育目標	1 学校教育目標の達成にむけて、PDCAサイクルに沿って共通理解・実践がなされている。	2.9	2.8	3.1
		2 一学校一改革「相手の心に届くあいさつ(自分から相手の目を見て)」の実践がなされている。	2.3	2.7	2.6
	家庭・地域連携	3 学級PTA、PTA専門部活動及び学校保健委員会、家庭教育学級等、保護者と協力・連携が図られている。	3.1	3.2	3.1
		4 学校支援ボランティアの活用や地域との連携を通じた地域の特性を生かした教育活動がなされている。	3.4	3.7	3.5
	各種団体・関係機関連携	5 幼保小、小小、小中連携やSC、巡回相談員等との関係機関との連携が図られている。	3	3.2	3.3
		6 校内研修や各種研修会、自主学習等を通して、教職員としての資質向上に努めている。	3.2	3.2	3
	教職員の資質向上	7 学校全体として1アクション(ICTによる校務の効率化)、各自の1トライ(実践事項)により業務改善がなされている。	2.9	2.6	2.8
		8 常に教育公務員であることを自覚して信頼される行動を心掛けている。(飲酒運転の禁止・交通安全・情報管理・金品管理等)	3.6	3.4	3.5
II 確かな学力の定着	9 「前之浜スタイル」によるわかる授業づくりを実践している。(「前之浜スタイル」による学び、効果的なICT活用)	3	3	3.4	
	10 基礎的・基本的事項の確実な定着を図っている。(単元テスト80%以上)(めあてとまとめの板書、小テスト、個別指導・補充指導)	3	2.8	3.2	
	11 各学年に応じた情報活用能力の育成がなされている。(ICT機器活用、プログラミング教育、情報モラル教育)	3	3	3	
	12 家庭と連携した個に応じた家庭学習の充実が図られている。(10分×学年+20分、内容の充実、読書習慣の定着)	3	2.7	3	
III 豊かな心の育成	13 全職員による生徒指導態勢をとり、早期発見・早期対応に取り組んでいる。(心の教育推進委員会等)	3.1	2.9	3.5	
	14 一事徹底事項の指導と見届けがなされている。(挨拶、思いやりのある言動、「前之浜小の子供の一日」の徹底)	2.8	2.3	2.8	
	15 保護者・子供と計画的・意図的な教育相談がなされている。	3	2.9	3	
	16 道徳科を中心とした道徳性の育成がなされている。(道徳科授業の充実、各教科・活動(緑化活動、ボランティア活動等)との関連)	3	2.8	2.9	
	17 読書活動の充実が図られている。(読書環境や行事の工夫、読書目標冊数の達成)	3.1	3.2	3.5	
18 学級活動、係・委員会活動、縦割り活動、学校行事等において子供の個性やよさを引き出す場の設定がなされている。	3	2.8	3.1		
IV 気力・体力の向上	19 教科体育等を通して体力・運動能力の向上がはかられている。(「一校一運動」なわとび、「ちょトレ運動」)	2.7	2.4	2.7	
	20 月目標や健康診断結果をもとに、基本的健康習慣の定着がなされている。(早寝・早起き・朝ご飯、う歯治療率100%等)	2.6	2.5	2.7	
	21 防災教育、避難訓練、安全指導等を通して危険予知能力や危険回避能力の育成がなされている。	2.7	2.8	3	
	22 学校施設・設備の点検・対応や感染症対策等、安心で安全な教育環境づくりに努めている。	2.8	2.9	3.1	

【自由記述】○成果●課題

「II 確かな学力の定着」について

- タブレットの宿題が済んだあと、自主的に他の単元もやってみようという意欲が見える。
- 鹿児島学習定着度調査で県平均を超えている 全体平均80点は常にとれている。
- 漢字力を上げるために、やる気の出るドリルなどで デジタマ など、自信をもたせていく。

「III 豊かな心の育成」について

- 朝読書の時間が、落ち着ける時間になり、スムーズに1時間目の授業に入った。
- かたづけや靴を履くなど、指導してきた成果が見られる。
- 仲間はずれやイジメはなく不登校者もいない。
- 言葉づかいについては、教師、児童一体で取り組む。

「IV 気力・体力の向上」について

- 縄跳びでも一つ運動を決めて1年間で取り組む。